

第10回新型コロナウイルス感染症対策委員会記録

1 会議の日時	令和4年2月8日 開 会 午前 10時 30分 閉 会 午後 0時 20分	
2 会議の場所	議会西棟第1会議室	
3 出席者	委 員	46名 (欠席者：なし)
	執 行 部	別紙配席図のとおり
4 事務局職員	議会事務局長 服部 敬 議事調査課長 梅本 雅史 他関係職員	

5 会議に付した案件		
件	名	審査の結果
1	感染状況について	
2	社会経済活動の現況について	
3	県の対策の状況について	

6 議事録（要点筆記）

○松岡正人副委員長

ただいまから、第10回新型コロナウイルス感染症対策委員会を開催する。

それでは、最初に佐藤委員長よりご挨拶いただく。

○佐藤武彦委員長

本県は、先月21日から「まん延防止等重点措置」の適用区域に指定されており、その指定期間の終期が今月13日に迫ってきている。

この間、本県では、前回の本委員会で説明があったように、最大限の危機感を持って、取り得る最大限の対策を講じてきた。また、時短要請の協力金の対象とならない事業者への最大級の支援など、県内経済への配慮に対し、感謝いたしているところである。

しかし、一方で、先月22日には、自宅療養が始まり、今月1日には、1日の感染者数が1,049人と過去最高を記録するなど、感染の収束の見通しがたたない状況である。

そこで、本日は、まん延防止等重点措置の延長も見据えた今後の本県の対策を効果的に推進するため、第10回の対策委員会を開催することとした次第である。また、第9回の対策委員会の際には、酒類の提供に関して多くの意見が出たところであるため、その点についても議論を深めていただきたい。

○松岡正人副委員長

それでは、執行部より、説明をお願いします。質疑は、説明終了後をお願いします。

(執行部 挨拶 平木副知事)

(執行部 説明 堀健康福祉部長、兼松健康福祉部次長、山田商工労働部次長兼
東京オリンピック・パラリンピック県産品活用促進総括監、
平野健康福祉部参事、渡辺健康福祉部参事)

○松岡正人副委員長

ただいまの説明に質疑はないか。

○小川恒雄委員

飲食店等への営業時間短縮要請に協力していない66店舗に対する処分はどのように考えているか。

○後藤感染症対策調整課長

現地確認の結果、要請に応じていない店舗に対して、命令手続きに向けた弁明機会を付与しているところ。今後、命令に従わなかった場合は、裁判所に対して過料事件として通知予定である。

○小川恒雄委員

県民等しく協力しているため、こういった事案には早急に処分を進めていただきたい。

○後藤感染症対策調整課長

国のガイドラインに則って行うため一定の期間を要するが、速やかに過料通知まで進めていく。

○平木副知事

市町村と一緒に悉皆調査を行い、要請に応じていない店舗について把握しており、法的手続きをしつかり行っていく。

○小川恒雄委員

自宅療養者に空気清浄機を貸与することはできないか。できない場合であっても、家庭で用意する場合に参考となる情報を提供いただけると良い。

○平野健康福祉部参事

1週間程度の療養期間のなかで、空気清浄機まで貸与することは難しいと考える。現在、自宅療養に備えていただくリーフレットを配布しており、参考となる情報として記載することも検討したい。

○平木副知事

空気清浄機のご提案については、まずは福祉施設にCO₂センサー（二酸化炭素濃度測定器）を配布し、CO₂濃度が高い際に換気を行っていただくということを進めており、空気清浄機と同じような機能を期待している。また、自宅療養に関しては、県も非常に力を入れて頑張っているところであるが、市町村や地域の医師会、医療機関にもご尽力いただいております、議員の皆様からも、地元の方々に県が感謝を申し上げていることをお伝えいただきたい。

○小原尚委員

ワクチンの3回目接種について、他県ではファイザーとモデルナのどちらかを選択できるところもあるようだが、本県ではどうか。

○中野感染症対策推進課ワクチン接種対策室長

県大規模接種会場では、全てモデルナを使用することを前提に、市町村において予約を受け付けている。市町村接種においては地域の実情に応じ、会場ごとに使用するワクチンを分ける、モデルナの予約を先行して受け付ける、接種日時と使用ワクチンを指定して通知した上で個別に変更を受け付ける等、様々な状況である。

○田中勝士委員

まん延防止等重点措置区域指定に応じた措置内容について、感染拡大抑止効果よりも社会活動や経済活動に与える影響の方が大きくなっているのではないかと、協力金等の対策にいつまで膨大な税金を投入し続けるのか、といった県民の声がある。県は、有効な感染抑止効果を発揮しているという認識はあるのか。

○兼松健康福祉部次長

感染症の拡大を防ぐためには、人と会う機会を少なくすることが最大の対策であるため、今回の時短要請も夜の人流を防ぐという意味で効果があると考えている。また、第5波までを振り返ると、まん延防止等重点措置や緊急事態措置区域指定に応じた措置後に感染者は減り続けてきた事実もあり、効果があると考えている。

○田中勝士委員

岐阜県は他県より厳しい措置を講じているが、感染者のデータを見ると、酒類提供の停止が優れた抑止効果を発揮しているようには見えない。この点をどう捉えているか。まん延防止等重点措置を延長す

るにあたって、引き続き酒類提供の停止をするのか。

○兼松健康福祉部次長

酒類の提供は停止する予定。酒類提供を停止している自治体は、岐阜県の他に、広島県、山口県、宮崎県、長崎県。人口10万人当たりの感染者数の全国順位が大きく下がっており、相対的な話になるが効果として表れていると考える。本県は、他の4県と比べると顕著に下がってはいないものの中位を維持している。

○田中勝士委員

自宅療養者支援について、現在、自宅療養者は約4,000人とのことだが、今の体制はどの程度まで対応できる体制なのか。

○平野健康福祉部参事

毎日の新規感染者が1,000人規模となっても対応できる体制として、当初76名体制から現在100名体制でチームを編成している。今後、新規感染者が更に増えていく可能性があるなか、ある時点においては、支援のあり方についても検討しなければならないと考える。

○川上哲也委員

ワクチンを3回接種した方の感染状況はどうなっているのか。

○堀健康福祉部長

正確な数までは把握できていないが、医療従事者など先行して3回目接種した方の感染事例も出ている。ただし、ほとんどの方が、無症状ないし症状の軽い方である。

○川上哲也委員

3回目接種をされた方が濃厚接触者になった場合、隔離期間はどのようになっているのか。

○堀健康福祉部長

3回接種したかどうかでルールが変わるということはない。

○川上哲也委員

3回目接種された方の隔離期間をエッセンシャルワーカーと同様に短縮することはできないのか。

○堀健康福祉部長

国の方でそのようなルールとなれば、それにあわせて対応していく。

○川上哲也委員

感染が拡がる中で社会経済活動を回すことは非常に重要であることから、3回目接種された方の隔離期間短縮が可能になれば、積極的に進めていただきたい。

○川上哲也委員

BCP（事業継続計画）の策定にはある程度の時間を要するもので、現在の感染拡大期に策定することは難しいと思われることから、県で積極的に支援する必要があるのではないか。

○桑田商工政策課長

県では、従来からBCPの策定支援をしているところであるが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、令和2年秋には感染症に対応したBCPの基本モデルを作成するとともに、策定支援セミナーを年10回程度実施している。今回は基本モデルから感染拡大期においてより重要なポイントを抜粋した簡易版

基本モデルを作成し、経済団体等を通じて周知を図るとともに、未策定企業への策定を依頼している。
また、今月中に策定支援セミナーを追加で開催する予定である。

○平野祐也委員

小中学校の部活動については、これまでもかなりの制限がかかっているが、部活動を全面的に禁止するのであれば、学校を休校とした方が良いのではないか。生徒も保護者も整理がつかないと思われるが、どのように考えているか。

○松本教育総務課長兼教育対策調整室長

部活動も教育活動の一環であり、休止することは教育委員会としても残念な思いである。しかしながら1月以降のクラスターの状況をみると、部活動でマスクを外さざるを得ない場面があり、感染する状況が避けがたい。そのため、今般の大変危険な状況を踏まえ、部活動を休止するという判断に至った。

また、休校した方が良いのではないかという意見も寄せられている。オンラインの活用により休校出来ないのかという議論はあるが、学校教育においては年度末の大事な時期であり、学年末考査や来年度に向けたまとめの時期に差し掛かっている。また、小学校、特に年齢が低い学年においては、子どもを預かるという側面もある。学校の一律全面休止は、児童生徒への影響が大きいうえ、前回一斉休校した際の社会的な影響も考えると非常に難しいことから、学びを継続していく中で、部活動を休止するという判断になった。

○平野祐也委員

学びは継続していただきたいので、部活動は禁止してほしくない立場からの意見である。

○平野祐也委員

小学校や保育所等における予防的検査の実施について、対象者は教員という理解でよいか。

○松本教育総務課長兼教育対策調整室長

小学校の教職員を対象としている。なお、行政検査として実施するため、岐阜市内の小学校の教職員を除いた実数を計上している。

○平野祐也委員

保健所業務がひっ迫しているなかで、予防的検査を実施することは可能なのか。また、検査により学校が止まってしまうという非常に難しい判断であるが、どのように考えているか。

○松本教育総務課長兼教育対策調整室長

小学生の中には年齢によりワクチンが打てない児童がいるため、教職員が感染につき大変不安に感じている。このような実情を考慮し、国の基本的対処方針にも盛り込まれていることから、小学校の教職員を対象として取り組むこととした。また、保健所には負担がかからないよう、医療的所見まで含めた外注を想定している。

○平野祐也委員

ワクチンの3回目接種について、1・2回目ほど県民のモチベーションが上がらず、接種が進むとは思えない。3回目接種は、年齢で区切るのではなく、接種を希望する人から早く打ってもらう体制を整えるべきである。

○平木副知事

今はとにかくワクチンの被接種者を増やすことが重要である。2月5日から県大規模接種会場で接種を開始しているが、そのほとんどがエッセンシャルワーカーであるなど、県としても年齢で区切らず接種していく方針を示している。市町村接種においても、モデルナの接種枠が空いていれば、エッセンシャルワーカー等への接種を進めていただいている。また、接種券の早期発行にも努められている。今後接種が進んでいくことで、周囲の人が打っているから自分も打とうといったモチベーションが上がっていくのではないかと。引き続きオール岐阜で追加接種を進めていく。

○平野祐也委員

BCPについて、例えば今日の会議でこれだけの幹部が集まっていて、我々議員もそうであるが、そもそもBCP上どうなのかと感じている。オンラインでは難しい等あると思うが、皆さんの身を守っていただかないと県民が不幸になる。そのあたりも含めたBCPを検討いただきたい。

○森治久委員

時短要請に応じていない66店舗において、今回のまん延防止等重点措置期間中にクラスターは発生しているか。

○後藤感染症対策調整課長

現時点でクラスターは確認できていないと聞いている。

○兼松健康福祉部次長

過去に、時短要請に応じていない店舗においてクラスターが発生した事例があるため、十分注意をしていただきたい。

○平木副知事

現在、保健所業務がひっ迫しており、高齢者施設や学校といった感染が広がる危険性が高い施設の調査を優先しているため、飲食店においてクラスターが出ていないと明言できるものではない。

○森治久委員

岐阜県オミクロン株対策特別支援金は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて売上高が減少した事業者が対象とのことだが、影響を受けるとはどのような状況を指すのか。また、全業種が対象となるのか。

○北村商工政策課経済・雇用再生室長

国の事業復活支援金と同じく、事業者から新型コロナウイルス感染症の影響を受けたという申し出をいただくことを予定している。従業員の感染により一定期間事業ができなかった場合なども対象となることから、幅広い業種を対象に支援できると考えている。

○中川裕子委員

自宅療養、入院、宿泊療養施設入所のそれぞれの要件を確認したい。

○堀健康福祉部長

1月に自宅療養を始めざるを得なかったタイミングでは、病床のひっ迫というよりも、軽症者が急な勢いで増えたため、全ての方に宿泊療養施設に入ってもらったことが難しくなったことから、軽症の方や若い方に自宅療養をお願いすることでスタートした。その後、高齢の方が非常に増え、病床もかなりの勢いでひっ迫したことから、現時点では、入院が必要な方に必ず入院していただける体制の確

保が一番重要となっている。そのため、従来入院していたような一部の方にも宿泊療養施設での療養をお願いしており、60代、70代の方をはじめとした年齢の高い方も宿泊療養施設に入所いただいている。一方で、若い方を中心とした大多数の方は軽症であることから、特に40代以下の方には、自宅療養をお願いしている。時々の感染状況によって使い分けをしているが、基礎疾患や持病をお持ちの高齢の方、治療が必要な方は入院、リスクの高い方は宿泊療養施設、よりリスクの低い方には自宅療養をお願いしているところである。

○中川裕子委員

宿泊療養施設入所者数の推移を見ると、1月末ごろにピークを迎え、その後減っている。宿泊療養施設が空いているのに自宅療養をしているように見えるが、どのような状況なのか。

○堀健康福祉部長

ピーク時よりも利用者数が減ってきているのは事実である。一方で、かなり年齢の高い方が入所しており、これまでになかった、持病をお持ちの方で多くの内服をされている方、耳の聞こえにくい方がいる。宿泊療養施設では、スタッフは基本的に部屋に入らない運用となっているが、看護師が部屋に入って対応しなければならないケースが非常に増えている。そのような事情から、見かけ上、数は減っているように見えるが、現場の負担は増えている。また、具合が悪くなり病院に移る事例も増えており、健康観察をよりしっかりしなければならない方が増えているという状況である。

○中川裕子委員

診療所で検査キットが不足して検査ができないという話を聞いている。県内医療機関における検査キットの状況はどのようになっているのか。

○堀健康福祉部長

感染者の急増により、抗原検査キットについてはかなりひっ迫感が続いており、キットが手に入らないため、検査を中断せざるを得ない医療機関も発生している。2月に入り、1月より供給量は増えているが、一方で感染増により使用する量も増えていることから、医療機関によって差はあるが、一部の医療機関では非常に厳しい状況であると聞いている。

○中川裕子委員

2年前にマスクなどの資材が不足した際には、県が購入したことがあったと思う。検査キットについても同様の対応は可能か。

○堀健康福祉部長

民間の無料検査拡大でキット使用量が増えたこともあり、1月に、国の方で卸の業者に対して、医療機関や行政検査を実施する機関への供給を優先するよう通知が出ている。また、県からも県内の卸に対して医療機関を最優先に供給するようお願いしているところ。完全に民間流通しているものであり、県での一括した供給調整は現実的には非常に難しいものではあるが、医療機関に最優先で供給していただけるよう、日々卸とやりとりしている。

○中川裕子委員

2月10日に正式に方針が決まるとのことだが、週末の3連休を迎える直前ではなく、早めに、県民に感染対策の全体像が分かるような呼びかけをしていただきたい。

○水野吉近委員

岐阜県オミクロン株対策特別支援金について、対象期間を2月までとした理由は。

○北村商工政策課経済・雇用再生室長

まん延防止等重点措置の期間である1月、2月と合わせている。まずはこの期間で制度を実施し、今後については感染状況も見ながら進めていきたい。

○水野吉近委員

救急搬送がひっ迫しているような話を聞くが、受け入れる病院は確保されているのか。

○伊藤医療整備課長

救急告示病院66機関に調査したところ、昨日時点では、12の医療機関において医療従事者の感染などで救急の受け入れを一部制限している状況にあるが、多くは通常通り受け入れている。コロナ患者の救急受入れについても、通常の救急搬送時と同様に、メディカルコントロール医師による調整をお願いしており、搬送困難な事例が生じないようにしている。

○岩井豊太郎委員

デルタ株からのオミクロン株への置き換わりの状況はどうなっているのか。

○堀健康福祉部長

県内で出ている株は、ほぼオミクロン株という状況である。

○岩井豊太郎委員

オミクロン株は比較的軽症で終わると言われているが、如何か。

○堀健康福祉部長

若い方などで持病のない方は、比較的軽い症状で終わる方も多い。一方で、高齢者を中心に、特に持病がある方は、高熱や肺炎になり悪化する方が増えている。入院している方の中でも、酸素投与が必要な方、挿管が必要な方が日に日に増えてきているという状況である。特に持病がある方には、決して油断できる病気ではないと認識している。

○岩井豊太郎委員

陽性者となった場合、保健所の対応はどのように行われるのか。

○堀健康福祉部長

すべての陽性となった方については、最寄りの保健所から一両日中に連絡を取り、療養先の調整をさせていただくことから、保健所からの連絡を待っていただきたい。

○長屋光征委員

時短要請に応じていない66店舗の地域別の割合は、岐阜圏域が圧倒的に多いのか。

○吉川市町村課長

66店舗のうち、約半数が岐阜市内となっている。

○長屋光征委員

飲食店に対する20万円の過料は、裁判所からどのようなスピード感で出されるのか。

○後藤感染症対策調整課長

令和3年5月9日から6月20日にかけて時短要請を行った第4波の事例になるが、過料の決定まで約

半年を要している。

○長屋光征委員

時短要請を守っている店舗に、違反店舗の処分状況が伝わっておらず我慢の限界がきているように感じる。司法の問題になると思うが、県から国へ要望いただきたい。

○長屋光征委員

微アルコール飲料の取り扱いについて、分かりやすく周知いただきたい。

○伊藤秀光委員

酒類提供の停止要請は、運転代行やおしぼり、酒屋などの関連業界に影響を与えている。一方で、隣の愛知県では夜8時までは酒類提供が可能であるため、県の対策を疑問に思う県民の声も届いており、足並みを揃えるべき。

○後藤感染症対策調整課長

岐阜県としては最大限の危機感を持って、最大限の対策をとるという方針の下で酒類の提供を停止している。岐阜県の範囲内でしか制限をかけられないため、愛知県との対策の違いは出てしまう。

○伊藤秀光委員

近隣県と歩調を合わせないと、不公平感が県民の中に出てしまうのではないか。

○平木副知事

愛知県知事も緊急事態であると仰っているように、岐阜県も緊急事態に相当するという認識でこのような対策を講じている。措置というのは各県知事が決めるものであるため、自ずと限界がある。県の支援制度は、現在、全国で一番受け皿の広い措置になるため、事業者に積極的にお伝えいただきたい。県民の命を守り抜くことが第一であるため、ご理解いただきたい。

○広瀬修委員

いつも足並み揃えて、と言っているのに、こういう時に限って揃わない。岐阜県から愛知県と三重県に対して、三県足並みをしっかり揃える強い意思を示していただきたい。

○広瀬修委員

過去の感染状況を見ても、ウイルスは徐々に毒性が弱くなるものである。国に現状を踏まえた議論を行うよう、全国知事会を通じて要望いただきたい。

○広瀬修委員

濃厚接触者に該当し働けない場合や、ワクチン接種の副反応により働けない場合の支援策を検討いただきたい。

○広瀬修委員

学校の部活動を休止することは理解できるが、民間のクラブチームによる活動を含めて議論してほしい。また、学校の運営については、生徒が一人でも感染した場合、学級閉鎖になるとのことであるが、オンライン授業の活用も良いが、不安等により登校できない子どもだけでなく、行きたくても閉鎖により強制的に登校できない子どもや家族に対する議論もしてほしい。

○松岡正人副委員長

質疑も尽きたようなので、これをもって、第10回新型コロナウイルス感染症対策委員会を終了する。

第10回 新型コロナウイルス感染症対策委員会 配席図

令和4年2月8日(火)
議会西棟 3階 第1会議室

森 医療福祉連携推進課長	森島 健康福祉政策課 管理監	関谷 障害福祉課長	有田 高齢福祉課長	深見 感染症対策推進課 管理監	野中 感染症対策推進課 管理監	奥村 保健医療課 こころの健康推進監	笠井 子育て支援課長	高田 子育て支援課 少子化対策企画監	安田 私学振興・青少年課長	山田 環境生活政策課長	青木 文化創造課長	清水 都市公園課長	大川 地域スポーツ課長	吉川 市町村課長
-----------------	----------------------	--------------	--------------	-----------------------	-----------------------	--------------------------	---------------	--------------------------	------------------	----------------	--------------	--------------	----------------	-------------

森 地域福祉課長	柴田 健康福祉部課長	篠田 薬務水道課長	中谷 感染症対策推進課 管理監	加藤 感染症対策推進課 医療・検査体制対策 室長	中野 感染症対策推進課 ワクチン接種対策室長	松本 教育総務課長兼 教育対策調整室長	渡部 観光企画課長	宮前 消防課長	高橋 外国人活躍・ 共生社会推進課長
-------------	---------------	--------------	-----------------------	-----------------------------------	------------------------------	---------------------------	--------------	------------	--------------------------

大野 健康福祉政策課長	平野 健康福祉部参事	高井 医療整備課 管理監	伊藤 医療整備課	小山 感染症対策推進課長	後藤 感染症対策調整課長	桑田 商工政策課長	北村 商工政策課 経済・雇用再生室長	子林 人事課長	板津 財政課長
----------------	---------------	--------------------	-------------	-----------------	-----------------	--------------	--------------------------	------------	------------

長沼 (福祉担当) 健康福祉部次長	竜橋 健康福祉部次長	堀 健康福祉部長	平木 副知事	兼松 (調整担当) 健康福祉部次長	渡辺 健康福祉部参事	山田 商工労働部次長 兼東京オリンピック・パラリンピ ック県産品活用促進総括監
-------------------------	---------------	-------------	-----------	-------------------------	---------------	--

議長
副議長
議会
事務局長

議 員 席